



2022年12月13日

各位

東京都八王子市美山町2161番地21
株式会社 菊池 製作所
代表取締役社長 菊池 功
(コード番号：3444)
問合せ先 取締役経営企画部長 乙川 直隆
電話 042-649-5921

営業外費用及び特別利益の計上並びに

2023年4月期 第2四半期（累計）における業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年4月期第2四半期決算において、営業外費用及び特別損失を計上するとともに、2022年6月14日に公表いたしました2023年4月期第2四半期（2022年5月1日～2022年10月31日）の連結業績予想および個別業績予想と本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上について

(1) 持分法による投資損失の計上について

2023年4月期第2四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社である株式会社イノフィス、トレ食株式会社などの研究開発活動を推進したこと、販売が弱含みであったことなどにより、連結業績において、営業外費用に持分法による投資損失44百万円を計上いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の持分法による投資損失は118百万円となりました。

(2) 投資事業組合運用損の計上について

2023年4月期第2四半期連結会計期間において、当社がLPとして参加する「ロボットものづくりスタートアップ支援投資事業有限責任組合」における投資先の評価減を行ったことにより、連結業績ならびに個別業績において、営業外費用に投資事業組合運用損68百万円を計上いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の投資事業組合運用損は69百万円となりました。

2. 特別利益の計上について

(1) 持分変動利益の計上について

2023年4月期第2四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であるトレ食株式会社が資金調達を行ったことで、連結業績において、特別利益に持分変動利益26百万円を計上いたしました。

3. 2023年4月期 第2四半期（累計）における業績予想と実績との差異

(1) 2023年4月期第2四半期（累計） 連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,730	△235	△318	△288	△23.84
実績(B)	2,406	△303	△429	△465	△38.56
増減額(B-A)	△323	△68	△111	△177	△14.72
増減率(%)	△11.9%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年4月期第2四半期)	2,475	△324	△446	△379	△31.44

(2) 2023年4月期第2四半期（累計） 個別業績予想と実績との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,289	△43	△43	△3.59
実績(B)	2,004	△150	△439	△36.39
増減額(B-A)	△284	△107	△396	△32.80
増減率(%)	△12.5%	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年4月期第2四半期)	2,044	△149	△293	△24.26

(3) 差異の理由

連結業績および個別業績について、新型コロナウイルスの影響による市場不況は緩やかながら回復傾向にあり、海外情勢や円安の影響もあり、製造の国内回帰の傾向も見られ、前年下期に比べ試作・金型製品ならびに量産製品全般においての受注の改善は見られるものの、一方で新規開拓分野の受注増が未だ限定的であり、売上高ならびに各段階利益は、2022年6月14日の公表数値を下回りました。また、営業外費用として、投資事業組合運用損などを計上したため、経常利益は前回公表数値を下回りました。個別業績において特別損失として関係会社貸倒引当金繰入額の計上、連結業績および個別業績において繰延税金資産の取崩による税金費用の増加などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益ならびに四半期純利益は公表数値を下回りました。

4. 今後の見通し

2023年4月期の業績予想への影響につきましては、他の要因も含め現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

以上